授業概要

分野	学科目		1年後期		90分講義22回 終講試験 1回
専門分野	基礎看護学方法論Ⅶ		45時間	1単位	
授業科目			講師		
看護過程			専任教員(実務経験者)		
科目 目標	1. 看護過程の基礎的知識・技術を身につける。				
	回数	項目	内容		
科目 内容	1	看護過程の意義とアセスメント	1. 看護過程の意義と看護過程の概要 1) クリティカルシンキング 2) 問題解決過程 3) ヘンダーソンの理論を用いた看護過程		
	2		2. ヘンダーソンの理論を用いた看護過程の展開(事例活用) 1) アセスメント (1) 事例の解釈 (2) 事例を理解するための自己学習 (3) 情報の種類・収集方法 (4) 意図的な観察と情報の検討・整理 (5) 情報の分析・解釈 ・未充足な現状と原因・誘因の分析・解釈 ・病態・症状の理解と日常生活への影響の関連性の理解 (6) 全体像の理解		
	3				
	4				
	5				
	6		2) 看護問題の明確化 (1) 看護問題の明確化 (2) 優先順位の決定		
	7	看護計画	3) 看護計画の立案 (1) 看護目標の設定 (2) 根拠に基づいた計画		
	8	実践	4) 看護実践 (1) 計画に基づいた実践とその根拠 (2) 倫理的配慮		
	9	評価	5) 評価 (1) 目標達成状況の評価 ・患者の反応、データに基づいた評価 ・実践した看護についての評価 (2) 看護計画の修正		
	10	まとめ	まとめ		
	11	事例の経過に応じた 看護過程の展開	1. 対象の状況に応じた個別的な援助方法を再考する。(事例活用) 1) 対象の病態・未充足状態のアセスメント 2) 看護問題の明確化と看護の方向性 3) 事例カンファランス準備(発表準備)		
	12		発表		
	13				
	14				
	15				
	16		4) 看護計画の立案		
	17		5) 根拠に基づいた看護実践(EBN) (演習含む)		
	18		6) 根拠に基づいた評価と計画の追加修正		
	19		7) 看護計画・評価の整理(発表準備)		
	20		発表		
	21				
	22	まとめ	まとめ		
	23	試験	試験		
【授業形態】 講義、演習					
【評価方法】 筆記試験、取り組み及び出席状況、課題、レポート、発表内容及び態度					
【テキスト】 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 ノーヴェル・ヒロカワ 看護過程に沿った対症看護 学研 系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 専門 成人看護学 (※各テキストを必要に応じて準備) 医学書院 病気がみえる 循環器・呼吸器・消化器 メディックメディア					